

市町連

MORIOKA

盛岡市町内会連合会広報

No.113 令和6年
7月号

年3回：7月・11月・2月発行

発行・編集
盛岡市町内会連合会
盛岡市若園町2-2
(盛岡市総合福祉センター)
TEL 623-4690
FAX 623-4699
印刷/社陵高速印刷株式会社

令和6年度通常総会

去る5月16日、県民会館中ホールにおいて、来賓に内舘茂盛岡市長様、遠藤政幸盛岡市議会議長様、谷藤裕明盛岡市社会福祉協議会会長様をお迎えし、令和6年度盛岡市町内会連合会通常総会を開催しました。

総会には会員140名(委任状170名)が出席し、すべての議案が原案のとおり承認されました。

<承認された議案>

- ・令和5年度事業報告並びに収支決算
- ・令和6年度事業計画(案)並びに収支予算(案)
- ・役員を選任について



ごあいさつ

会長 小枝指 好夫

皆様方には、ご多用のところ令和6年度盛岡市町内会連合会通常総会にご出席いただき、ありがとうございます。

昭和39年に創設した当連合会は、本年7月に60周年の節目を迎えることになりました。ご支援・ご協力を賜りました関係機関の皆様、会員の皆様に心より感謝を申し上げます。

町内会活動は少子高齢化や価値観の多様化等に起因する役員の手不足など難しい問題に直面しております。

幸いに本市の場合、「町内会の結成率」、「町内会への加入率」ともに、全国と比較してかなり高い水準にあります。しかし、課題解決に向けて早急な対策が必要であるという点は、本市も例外ではありません。

「盛岡市地域づくり協働推進計画」の基本理念である“盛岡が盛岡らしく在り続ける”ため、市当局と危機感を共有しながら未来志向の活動を推進してまいりますので、引き続き会員の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

盛岡市長 内舘 茂 様

市町内会連合会の皆様には市勢の推進に格別のご理解、ご協力を賜り、さまざまな活動を通じて明るく住みよいまちづくりにご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

年齢や性別、そして障がいのあるなしを越えて一緒に生きていこう、そういう盛岡を夢見てきました。そのためにはまずは経済です。地元経済の力で明るい元気な盛岡をつくっていかねばと思っています。

町内会・自治会は、今までの日本をそして盛岡を一生懸命つくってくださった大切な財産・宝物だと思っています。

今年度も市政推進懇談会、まちづくり懇談会があります。多くのご参加をいただき、皆様のご意見に耳を傾けて一緒に考えていきたいと思っております。先輩方がつくってきいてくださったものを大切にしながら、新しい価値を見出していくという盛岡のまちづくりを進めていきます。よろしくお願いいたします。



盛岡市議会議長 遠藤 政幸 様

昨年はニューヨークタイムズ紙において盛岡が紹介され、国内外で大いに注目されました。これもひとえに、各町内会の皆様方を中心に市民一人ひとりが快適な生活環境づくりと地域の活性化に取り組んでこられたご尽力の賜であり、心から敬意を表する次第です。

地域の担い手不足や連帯感の希薄化など、地域を取り巻く環境は大きく変化し、課題が多様化、複雑化しております。

誰もが住み良い地域づくりを進めていくためには、行政と町内会・自治会の皆様が一体感をもって連携・協力することが、今後ますます重要になるものと認識しております。

市議会としても地域の皆様の声をお聞きしながら、住み良い地域社会の実現に向けて、力を尽くしてまいりますので、引き続き皆様方のご協力をお願い申し上げます。



盛岡市社会福祉協議会会長 谷藤 裕明 様

少子高齢社会の進行による社会保障への負担の増加、貧困・虐待・介護や子育てへの不安など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。また、各地で大規模な自然災害が発生する中、地域住民相互の普段からのつながりが一層求められる一方で、制度の狭間でお困りの方が増えるなど、地域生活課題は複合化、複雑化、深刻化しております。

市社会福祉協議会では、個別の困りごとへの相談や居場所づくり支援など従来の活動に加え、地域住民、行政、関係機関の連携・協力による取組みを進めておりますが、地域共生社会の実現には、地域のリーダーである皆様のご支援・ご協力が不可欠です。

今後とも、当協議会の事業活動にご理解をいただき、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



令和6年度 盛岡市町内会連合会事業計画

SDGs－国連が「持続可能で多様性のある社会」を実現するために掲げた17の目標には「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくりを」「パートナーシップで目標を達成しよう」など、私たちが地域で取り組んでいる活動と共通するものが少なくありません。

「市民生活の向上と市民福祉の推進を図るとともに、市勢の発展に寄与する」ことを目的に創立した本会は、今年60周年の節目の年を迎えます。

少子高齢化や価値観の多様化により、役員の高齢化や担い手不足など難しい課題に直面している今こそ、視線を高くして未来志向の組織運営を図っていく必要があります。

今年度も関係機関・団体との連携を図りながら、「盛岡市地域づくり協働推進計画」に掲げる“盛岡が盛岡らしく在り続ける”ために、26の地区組織や各部会を中心に各般の事業に取り組んでまいります。



会長 小枝指 好夫
(上田地区)



副会長 伊藤 吉郎
(青山地区)

総務・市民生活・広報情報部会担当



副会長 中村 一
(仙北地区)

地域振興・防災防災交通安全部会担当



副会長 柿木 和夫
(見前地区)

福祉厚生・教育振興部会担当

総務部会

部会長 四戸 春雄
(太田地区)



事業計画に基づく運営管理と効率的な執行に努めます。

- ①通常総会、役員会、理事会等の開催
- ②表彰式の開催(令和6年10月16日)
- ③新年交賀会の開催(令和7年1月15日)
- ④玉山地域自治会連絡協議会との情報交換会の開催

⑤「緑の募金活動」への協力

市民生活部会

部会長 大坪 靖夫
(大慈寺地区)



盛岡市ごみ減量化行動計画に基づき、ごみ減量資源再利用運動を推進します。

- ①ごみ分別処理の啓発指導
- ②ごみ減量資源再利用地区懇談会の開催(26地区)
- ③もりおかエコライフ2024の開催(市共催)

④ごみ減量資源再利用市民のつどいの開催(市共催)

⑤きれいなまち推進協議会との合同研修の開催

福祉厚生部会

部会長 泉澤 力
(城南地区)



少子高齢化へと社会が大きく変化する中で、地域福祉に関する研修等に取り組めます。

- ①部会主催の研修会の開催
- ②福祉施設等の見学及び研修の実施
- ③盛岡市社会福祉大会への参加

地域振興部会

部会長 堀合 新吾
(山岸地区)



町内会・自治会、関係機関等と連携し、住みよい地域づくりを推進します。

- ①まちづくり懇談会の開催(14地区・市共催)
- ②コミュニティーリーダー研修会の開催(市共催)

防災防災交通安全部会

部会長 長岡 利明
(本宮地区)



「安全で安心できる住みよい地域社会」を目指し、関係機関等と連携して活動に取り組みます。

- ①自主防災組織づくりの促進及び啓発活動支援
- ②部会主催の研修会の開催

③「防犯・子ども見守りボランティア」の活動強化及び多様化する犯罪・交通事故防止対策の取り組み支援

④「自主防災・交通安全・自主防災組織リーダー」等、講習会及び行政主催の研修会等への参加協力

教育振興部会

部会長 増田 文男
(緑が丘地区)



「たくましく生きる盛岡の子」を育むため、地域の役割と責任を果たす取り組みを推進します。

①市教育振興運動第12次5か年計画に関する啓発活動及び参加促進

②教育振興運動ブロック研修への参加

③部会主催の研修会の開催

広報情報部会

部会長 相馬 宏
(仁王地区)



各町内会・自治会に幅広く情報を提供するため、各地区組織の協力を得ながら計画的に広報を発行します。

①広報「市町連MORIOKA」の発行(年3回・班回覧)



令和6年度 市町連役職員

顧問 副会	問	平井興太郎 (山王町)
	長	小枝指好夫 (高松二丁目)
副会	長	伊藤 吉郎 (青山一丁目)
		[担当部会: 総務・市民生活・広報情報]
常務理事 監事		中村 一 (仙北三丁目組町)
		[担当部会: 地域振興・防犯防災交通安全]
		柿木 和夫 (上通)
		[担当部会: 福祉厚生・教育振興]
【総務部会】 部会 副部会 部	長	細川 恒 (上田堤)
	副	遠藤 政幸 (西青山三丁目)
	部	岩野 光進 (馬場町)
	会	四戸 春雄 (中新田)
	副	後藤百合子 (加賀野一丁目)
	部	吉田 公一 (仁王三小路会)
	会	伊勢 裕次 (住吉町)
	員	菊池 健 (浅岸)
		千葉 治穂 (東安庭一丁目)
		藤村貴美夫 (大沢)
【市民生活部会】 部会 副部会 部	長	大坪 靖夫 (神子田町)
	副	鈴木 正 (東安庭)
	部	川村 秀文 (四ツ家町)
	会	宮本 岩保 (東松園四丁目)
	員	福土 信幸 (松尾町)
		村山 茂 (向中野)
		藤澤 由蔵 (根田茂)
【福祉厚生部会】 部会 副部会 部	長	泉澤 力 (新庄)
	副	伊澤 昌弘 (栄町)
	部	新田久美子 (大通三丁目第二)
	会	玉山知瀬子 (小鳥沢)
	員	田沼 徳一 (上厨川)
		中村 英俊 (仙北三丁目)
		高屋敷正一 (和野)
【地域振興部会】 部会 副部会 部	長	堀合 新吾 (御弓町)
	副	中澤 正博 (中川町)
	部	伊藤 純 (高松第一)
	会	村田 保瑞 (青山四丁目)
	員	天野ゆり子 (下ノ橋町)
		松岡 博 (金蔵)
		佐藤 長武 (下久根)
【防犯防災交通安全部会】 部会 副部会 部	長	長岡 利明 (本宮一丁目)
	副	井上 行男 (桜台)
	部	古舘 喜一 (緑が丘四丁目)
	会	西 光栄 (西仙北二丁目)
	員	佐々木信好 (西太田第一)
		川村 圭司 (河南)
		田山 幸男 (寺の下)
【教育振興部会】 部会 副部会 部	長	増田 文男 (黒石野平地区)
	副	伊勢 六郎 (津志田南)
	部	小笠原秀孝 (上田四丁目)
	会	神部 伸也 (みたけ中央)
	員	松井 良治 (緑町)
		小西 征史 (城西町)
【広報情報部会】 部会 副部会 部	長	相馬 宏 (北山)
	副	伊達 康子 (月が丘一丁目)
	部	平野耕一郎 (夕顔瀬町第一)
	会	石井 宗夫 (つなぎ)
	員	田中 善男 (黒川南)
事務局員		藤澤 澄子 (三本柳南)

令和6年度 まちづくり懇談会の開催

市との共催による「まちづくり懇談会」が開催されています。「まちづくり懇談会」は市と地域とが市政についての問題意識を共有し、将来に向けて建設的な意見を交わす貴重な機会です。市民の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。各地区の懇談テーマは次のとおりです。

(6月15日現在)

地区	開催日	懇談テーマ (要旨)
土 淵	5月24日(金)	上厨川ふれあいパークについて
青 山	7月 4日(木)	1 自治会の役員の高齢化と後継者不足、加入促進について
		2 アパートのごみ集積所設置等について
築 川	7月 5日(金)	1 遊休農地を活用した羊の飼養について
		2 盛岡築川風力発電計画に伴う築川地域活性化について
桜 城	7月12日(金)	「災害時、地域住民の安全を確保することができるように、地域で今できることを考えよう」について
北厨川	8月 6日(火)	未 定
松 園	8月 9日(金)	〃
渋 民	8月20日(火)	〃
大慈寺	8月27日(火)	〃
上 田	8月29日(木)	〃
西厨川	9月 2日(月)	〃
緑が丘	9月 3日(火)	〃
仁 王	10月24日(木)	〃
つなぎ	10月30日(木)	〃
みたけ	11月21日(木)	〃

創立60周年記念トークイベント “あのまち このまち 万々歳”が IBCラジオで放送されます。

- 放送日時 8月11日(日) 午前11時5分～正午
- 出演者 浅見 智さん (IBCアナウンサー)
奥村奈穂美さん (IBCアナウンサー)
天津木村さん (お笑い芸人・もりおか魅力発信大使)
- 内 容 番組を通じて見つけた地域の人材や魅力を、楽しく語り合います。そこに、まちづくりのヒントが見えてくるはず。



浅見智アナウンサー&奥村奈穂美アナウンサー

天津木村さん

「親睦」を基調とした自治活動の展開

仁王新町町内会(仁王地区)

仁王新町町内会は仁王小学校の南側、本町通りと中央通りの間に位置しており、いわゆる中心市街地とも呼ばれる約380世帯が暮らす町内会です。また、太平洋戦争中の1940年から数年にわたり、彫刻家の船越保武氏が東京から当町内に疎開し、深沢省三・深沢紅子夫妻とともに岩手県美術研究所で後輩の指導にあたりました。船越が暮らした住居は、今もその名残があります。



3世代で楽しんだ敬老祝賀会

本会自治活動の拠点となる公民館は、赤川堰を埋め立て昭和58年6月19日竣工。以来、40有余年、地道な活動ではありますが、定期総会、温泉旅行、敬老会、新年会等の「親睦」を基調に絆を育ててきたところです。

特に近年、活動が充実しているのが、3世代による花植えと共にサツマイモ栽培です。収穫の楽しみもさることながら、土の匂いを嗅ぎながら、世代を超えて弾む会話の喜びを体と汗で感じています。また、昨年度から会員の呼びかけで始まった第三日曜日「お茶っこクラブ」では、時に10名前後の高齢者が、近所のオールド珈琲店「機屋(HATAYA)」から、ネルドリップコーヒーを公民館に取り寄せ、四季折々の茶菓子を味わいながら優雅な時間を過ごすことがあります。

少子高齢化が加速度的に進んでいる本会ですが、関係機関と協議し、地震や水害等の自然災害から安全かつ確実に避難できる危機管理体制を構築していくことがこれからの本会の使命だと考えています。

(藤村 輝身 記)

市町連広報

あのまち
このまち

令和6年7月号
No.113

自然豊かで住みよい街「砂溜」

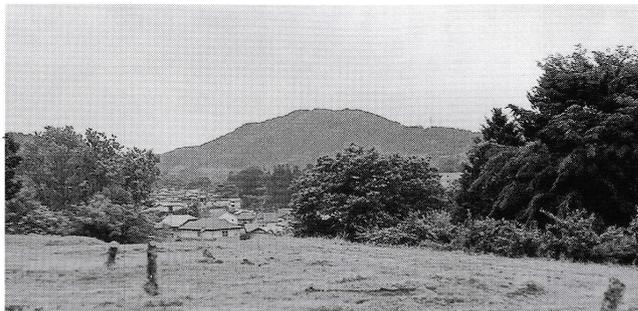
砂溜町内会(中野地区)

盛岡市は昨年1月、米国ニューヨークタイムズ紙の「2023年に行くべき世界の都市52か所」の2番目に選ばれました。大正時代の和洋折衷の雰囲気が残る建物と近代的な施設、そして自然豊かな風景が存在し「歩いて回れる珠玉の街」と高く評価!の記事です。

この記事の中の「自然豊かな風景が存在し」を見て思いついたのは、昔、と言っても江戸時代以降の話ですが、当時有名だった琵琶湖の周辺の素晴らしさを表現した「近江八景」にちなんで、南部の殿様が「盛岡八景」を選んだことです。紹介します。

- ①鶴飼の青嵐、②新山(河岸)帰帆、③築川の夜雨、
- ④岩山の秋月、⑤沢田の夕照、⑥太田の落雁、
- ⑦北山の晩鐘、⑧岩鷲の暮雪、です。

その後、この盛岡八景は市民により変えられており、④鑪山(たたらやま)の秋月が入ったこともあるのです。岩山は私どもの町内ですし、鑪山はいつも向かいに眺めて



さだまり たたらやま
砂溜から鑪山を望む

いる山です。築川はすぐ下を流れている川ですし、砂溜の地名は昔このあたりを築川が流れていたためにつけられた地名とのことです。こうした自然の中に砂溜がいくつも関係していて、その中に私たちが住んでいるということです。世界に誇る良い環境の中にある盛岡を代表する環境の中に住んでいるのだ!という誇りを持ち、これからも幸せを感じながら住んでいきたいと思っています。

(古澤 元雄 記)

住み良いまちづくりを目指して

河北自治会(飯岡地区)

最近「町内会役員の担い手がいない」「兼職もやむを得ない」「町内会が解散となった」などと気になる声が聞こえるようになりました。一方若い方からは「町内会って何?」「どんなことしているところ?」「町内会費払うのも大変」とつぶやく声も聞こえてきます。

河北自治会。南川を基準に北側だから、河北と名付けられたのでしょうか?

私は、名称の由来もわからないまま、班長も未経験、転居してまだ3年なのですが、会長の職をお引き受けすることにしました。

河北自治会は班長だけでなく、会長、副会長、総務部長、会計、体育部長が輪番で選出されているからです。

今年度は私が所属する班から会長を選出しなければならず、班長さんのご苦勞を考えると断ることができず、不勉強な私が会長をお引き受けすることとなりました。



力を合わせて公園の花植え作業

役員の選び方は様々だと思います。この輪番という方法でも自治会活動がすすめられるよう事例などを積み重ねていきたいと考えています。前職の方がおつくりになった引継ぎ書類が大変役に立っています。感謝です。

私たちも、この地がより住みやすくなるために、そして住んでいる方たちが自治会活動に少しずつ参加でき、取り組みや話し合いを重ね、記録を積み重ねていきたいと思っています。

(加藤 昭一 記)